

アフリカに理解を～Link to Africa 報告書

概要を報告し、評価を記す。最後にアンケートと写真の添付あり。

<企画展概要>

○実施期間：2007年11月5日（月）～16日（金）10:00～18:00（土日休み）

○企画展趣旨：

2008年に日本で開催されるG8サミットや第4回アフリカ開発会議に加え、映画や音楽、舞踊など、近年日本で「アフリカ」に対する注目度が高まっている。一方、日本の国際協力NGO50団体以上がアフリカにおいて、教育、植林、保健医療など様々な分野で協力活動を展開しているが、その活動の多くは一般市民にあまり知られておらず、活動のさらなる広がりが求められている。また、自治体や地域国際化協会でも、アフリカをテーマにセミナーや講演会が行われてきたが、実際にアフリカと交流・協力を行なう事例は限られており、NGOや市民の間でもほとんど知られていない。そこで、自治体・NGO・市民をつなぐ「市民国際プラザ」として、これらのアクターのアフリカでの活動を紹介するとともに、アフリカの現状や課題、また文化面やたくましく生きる姿などの明るい面についての「アフリカ理解」や、相互の協力関係の構築に向けた参加のきっかけを提供するため、今回の企画展を開催した。

○企画展目標：

- ①自治体、地域国際化協会、NGOの事例を通し、アフリカの現状や様々な問題の本質を伝える
- ②アフリカをテーマに活動を行う自治体やNGOについて理解を深め、日本とアフリカの今後のよりよい関係のあり方について考えていただく機会を提供する。
- ③自治体・地域国際化協会・NGOが協力した新たなアフリカ支援やアフリカ理解の事業に結びつく可能性を追求する。
- ④各協力団体の概要や展示資料の説明、参考文献、視聴覚資料を紹介することにより、アフリカを「身近に」感じてもらい、活動への参加のきっかけとしていただく。

○協力団体について

・アフリカ理解プロジェクト

エチオピアで奨学金や教室建設、教材開発等の支援を行なう傍ら、日本国内で学校や社会教育の場でアフリカ理解を推進し、アフリカと日本、そして世界を結ぶ活動に力を入れる日本のNGO

・大津司郎(フリージャーナリスト)

青年海外協力隊でのタンザニア赴任を経て、30年以上にわたり野生世界と時事問題の両面からアフリカを追求し続けている。昨今は、アフリカ紛争地域に焦点を当て、グローバルな視点で分析、レポートを送っており、アフリカ関係の数多くの報道、特集等のTV番組ではコーディネーターとして活躍中

・サパ=西アフリカの人達を支援する会

ギニアで熱帯林の再生植林や農業支援を行なう一方、日本国内では西アフリカの人たちの暮らしと文化を伝える活動を積極的に行なっている

・北海道滝川市

アフリカのマラウイから農業研修生を受け入れるなど、JICAや地元の農業団体等と協力して農業技術支援を行なっている

○展示内容：

アフリカに対して協力活動を行なう自治体やNGOのパネル展示やビデオ上映、関連書籍の展示など／上記の団体の活動紹介パンフレットやイベントのチラシなどの設置／アフリカを舞台に活動するジャーナリストの写真展示および講演会／地域国際化協会のアフリカに関するセミナーの紹介／それぞれの協力団体・個人から寄せていただいたメッセージの掲示

○特別企画の開催：→詳細は添付の報告書およびアンケートを参照のこと

- ・大津司郎氏講演会『Untold Frontline』（11月9日（金）実施）

○来訪者内訳(アンケート回答者数:75名(うち37名は大津司郎氏講演会にあわせて来訪))

学生9名（東京学芸大学、共立女子大学、法政大学、上智大学）、会社員8名（京都大学国際関係論研究会（SIRKUS）学生サークル、テレビマンユニオン、広告関係製作）、自治体3名（神奈川県非常勤職員、なか区民活動センター（横浜市中区役所地域振興課）、地域国際化協会3名（かながわ国際交流財団、京都市国際交流協会）、その他8名、教育関係者1名、NGO/NPO1名、不明・未記入5名

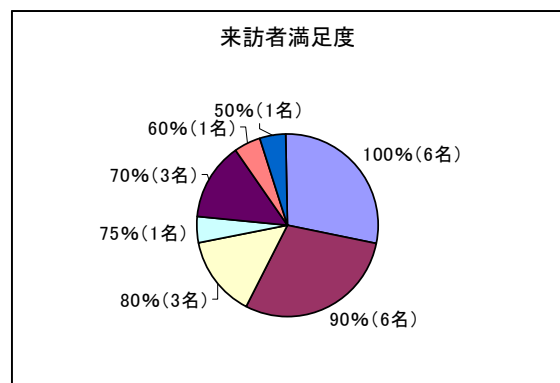
○来訪者が参考にした広報媒体

友人の紹介15名（大津さん4名、市民国際プラザ清水1名、テレビマンユニオン渡辺さん1名、子供から1名）／朝日新聞7名／メーリングリスト5名（拓殖大学ファシリテーター養成講座、国際協力マガジン）／プラザwebサイト4名／その他webサイト2名（JANIC、アフリカ）／その他5名（通りすがり2名、グローバルフェスタ2名）

○企画展の満足度→右図

来訪者に聞いた、企画展の満足度のグラフを記す。

80%が7割、50・60%も一人ずついた。（ただし理由の記述なし）→詳細はアンケート参照



○印象に残った展示について(またその理由)

印象に残った展示についていただいたアンケートや、展示中に受けたコメントなどをまとめた。

<アフリカ理解プロジェクト>

教育に興味があるから／ポスターや衣食住の本など、分かりやすく効果的に演出されていた。説明文がもう少し分かりやすければよかった。／これまで単一なイメージだったアフリカの多様性が伝わってきた。／今度エチオピアに行きたい。アフリカ理解プロジェクトの支援先を見たいので連絡したい。

<大津司郎さん写真・ビデオなど>

生々しく、インパクトがあった（多数）／「笑顔」の写真を展示するイベントもあるが、アフリカの現状がよく伝わって来た（多数）／テレビや映画では見られない本当のアフリカを見て、胸を打たれた（多数）／アフリカの各国に関する情報の手書きの説明や絵、コメント付の写真が分かりやすかった（多数）／自分が見ていたはずのものを見返すことができよかった／臨場感のある写真ばかりで、アフリカで起きている問題がより身近に感じられ、もっと真剣に考え、実行すべきことがたくさんあると実感させ

られた／子供の頃にテレビで見た様子と同じで、何も変わっていないんだ…と不安や悲しさを感じた／力強くて美しいと感じた／“アフリカ”と言っても、その中にいくつもの国があり、それぞれ違った原因を持つ紛争があることを改めて知った／ルワンダがとても小さな国であることを知り驚き、悲劇の惨状を改めて考えさせられた／（タラマ教会）そのままの状態にされているのが衝撃的だった。

<サパ＝西アフリカの人達を支援する会>

ODA の使い方について考えることができた／西アフリカに興味があったので、いいカレンダーが見つかってよかった／泥染めの工程を説明した展示もよかった。染め物の実物があったので、なおよかった。実物を見て触れることができるのは、理解を助ける。

<北海道滝川市の事例>

実家が農家だから／国際協力と地域興しをつなげることを将来やっていきたいから

<国際協力関連書籍>

就職のことなど、知りたい情報がたくさんあった。まだまだ視野が狭いなと思った。

○今後やってほしい企画展の内容

食3名（食糧自給率、食、キューバやアフリカでの有機農業）／アフリカ2名（勉強会、アフリカ出身者やコミュニティ関係者との交流会）／東欧やロシアの何か／キューバや南米／Untold Frontline／講演会／NGOの具体的な活動について／少数民族の神話に関するイベント（世界的なつながりが発見できる）／フェアトレード等、気軽に一般市民が参加出来る物／日本地域おこしと、国際交流・協力

○評価と今後について

アンケートでいただいた企画展についてのアドバイスを踏まえ、今後以下のような姿勢で取り組みたい。

①せっかくだからもっと多くの人に来てもらえるようにできるといいですね。場所とか。→2名

②このような展示会や企画があることをより多くの人々に知ってもらうための情報発信がまずは大切だと思います。

③市民国際プラザがもっと人の流れの多い場所にあると、より気軽に立寄ることが出来、多くの市民がプラザの企画を通じて様々な事を自分達のことととらえて考える機会が増えるように思う。

→プラザの場所に関しては、難しいが、情報発信の仕方はもっと工夫できると考えられる。現在は予算がないためにインターネット上の広報と、メール、近隣のお店へのチラシ配布に留まっている。特に、教育関係者など、対象を限定する場合の広報を今後どうして行くかが大きな課題である。

④中で会議をされていたので…。

→会議スペースの貸し出し日と、企画展が重なってしまったことから、このようなことが起きた。出きるだけ重ならないようにするためにも、企画展の計画を早め早めに進める必要がある。

⑤もっと時間をかけてゆっくりみたかった

⑥時間が18:00まででお昼休みの時間でみるには内容が濃いので時間が足りない。もう1日くらい金曜日の時間延長があったらうれしい→1名／土曜も開いている時があればうれしい→1名

→プラザの性質上、土日の開催は難しいが、企画展中の開館時間の延長は、今後出来る限り実施してい

きたい。特別企画なども含めて、2回は開館時間の延長を視野に入れたい。

⑦ビデオがすごくよかったです。でも配置が少しみにくかったのと、今回の目的、ポイント、各NGOの活動の要約などもあればよかったなと思いました。

→こちらとしてはしっかりと提示していたつもりだった「企画展の目的」について、非常に参考になる意見をいただいた。当日配布資料だけでなく掲示の形で、より分かりやすく企画展の趣旨を見せていく工夫が必要である。

⑧日本の企業の技術力は、世界的にも日本人にも知られていますが、自治体レベルで持っているノウハウも広く知らせて欲しい気になりました。

→自治体が行う国際協力の中で、技術に焦点を当てたものも、企画展のテーマとして挙げられる。

⑨協力団体の展示についての、来訪者からの評価が非常に高かった。

ポスターや衣食住の本など、分かりやすく効果的に演出されていた／アフリカの各国に関する情報の手書きの説明や絵、コメント付の写真が分かりやすかった（多数）／泥染めの工程を説明した展示もよかった。染め物の実物があつたので、なおよかった。実物を見て触れることができるのは、理解を助ける。

↓

これらは、協力団体にやっていただいた展示に対するもので、来訪者の方からとても評価されている。企画展の主催者として、協力団体に頼るだけではなく、イベント全体をまとめ、分かりやすい展示をしていくように心がけ、絵や図、実物など、来訪者の理解を助ける努力が必要であると再確認している。

<アンケート>

※広報媒体、所属、印象に残った展示、やって欲しい企画展のテーマについては既に記したので省略

○今日の満足度（その理由）

100%：今までアフリカで起きていたさまざまな紛争について、なんとなくよその国の出来事としかとらえていなかったが、今回展示を見たことでより身近な問題としてとらえ、もう少し真剣に考えてみようと思う機会になった／アフリカに関する様々な団体の展示があつたのもよかった／それぞれの団体の方が、いろんな方法で、私たちが知らないアフリカのことを伝える努力をされていて、問題を伝えるだけでなくよいところを伝えることで、より関心を向けてもらう工夫が実際に見て取れて、良かったです。自分にできるやりかたは何か、考えさせられました／甘ったるい情感でなく、冷たいまでのリアリティをその中にあるやさしい視線。大津氏の写真を見られてよかった／普段触れることのできない世界を見られました／写真だけでなく、様々な活動の紹介、文化の説明もあつて良かった。

90%：資料がたくさんあり（複数）、ビデオも見られて良かったと思う／いずれ、何らかの方法で、国際活動をしたいと思っているので…／質の高い情報が集まっていることに圧倒された／せっかくだからもっと多くの人に来てもらえるようにできるといいですね。場所とか

80%：中で会議をされていたので…

75%：知らなかった活動に出会えた。教育プロジェクトなど。

70%：色々な資料を見たりすることができたから／もっと時間をかけてゆっくりみたかった／ビデオが

すごくよかったです。でも配置が少しみにくかったのと、今回の目的、ポイント、各NGOの活動の要約などもあればよかったなと思いました。

〇〇%（満足度の記述なし）：短い時間でしたので満足度とまで云えません。ビデオは大変参考になりました。／係の方といろいろお話ができてよかったです。（複数）／写真の展示は分かりやすかったです／内容はすごく濃くて良いと思うのですが自分の場合は、受け手の方で理解できてないかも…。

〇アンケートでは寄せられた企画展（全体）に関するおもな感想

今までアフリカで起きていた様々な紛争について、何となくよその国の出来事としか捉えていなかったが、展示を見たことでより身近な問題として捉え、もう少し真剣に考えてみようと思う機会になった／それぞれの団体の方が、いろんな方法で、私たちが知らないアフリカのことを伝える努力をされていて、問題を伝えるだけでなくよいところを伝えることで、より関心を向けてもらう工夫が実際に見て取れて、良かったです。自分にできるやりかたは何か、考えさせられました。ありがとうございます／普段触れることのできない世界を見られました／貴重なお写真を見せて頂き、ありがとうございました。